

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第23号
(令和6年1月)
文責 西澤 庄藏



新年は、能登半島地震が起こり、穏やかではない幕開けになりました。被災された皆様が一日でも早く穏やかな日常を取り戻されることを願うばかりです。

今年の干支にちなんで「昇り龍」という飛躍を意味する言葉があります。教職員一同、生徒一人一人が夢や目標に向かって大きく羽ばたいていけるよう、誠心誠意、サポートしていく決意を新たにしました。保護者の皆様におかれましても飛躍の年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

ただただ希望にあふれる一年を祈るのみです。「続ける」ことの思いを説きました。

始業式の式辞で3学期に懸ける思いを伝達しました。

3学期は(1・2学期に比べて)期間が短い。短い期間だからこそ、一日一日を大切に、勉強、部活動等、一つのことを粘り強く続けてほしい。時に、くじけそうになっても(教育目標に掲げる)「学び合い」「高め合い」の精神で互いに切磋琢磨して向上してほしい。よって、今学期は「続ける」を課題に掲げ、学校全体が高みを目指します。

続ける

具体的には「授業を頑張る田平中学校生徒の姿を見たい」その思いです。「続ける」を意識し、主体的・対話的な姿勢で授業に臨みましょう。思いや考えは言葉にしてこそ学力定着につながります。2学期を振り返ると、話し合い活動に参加しない消極的な態度を見て、残念な思いをしたことが記憶の片隅にあります。「根拠や理由を明確にして自分の考えを持つ」「自分の言葉で相手に分かりやすく伝える」このことを意識するなど、インプットすることと同時にアウトプットすることにも精力を傾けてほしいとと願います。よりよい田平中学校づくりに向けて互いに奮起しましょう。(式辞【抜粋】)

冒頭には、将棋界のレジェンド・羽生七冠の「才能とは努力を継続できること」という言葉を引用し、こども「続ける」ことの大切さについて語りました。

新・生徒会役員が任命され、厳粛な中にも堂々とした「船出」となりました。

島本会長をはじめ旧生徒会役員の皆さん、おつかれさまでした。手応えのある活動の振り返りに、安堵した思いです。これまでの献身的な活動に感謝の意を表します。ありがとうございました。

1/12(金)生徒会役員任命式及び引継式を実施しました。新・生徒会役員代表の所信表明で「学校内外から素晴らしい学校だと思ってもらえるよう新たな田平中学校を創っていきたい」と頼もしい言葉が聞かれました。公約に掲げた高い志を完遂すべく熱心な自治活動を期待しています。

新しい生徒会役員は、以下のとおりです。

【本部役員】

- 会長 重富さん(2-1)
- 副会長 森下さん(2-1) / 山野さん(2-1) / 川村(悠)(1-2)
- 会計 前田(瑞)さん(2-1)
- 書記 中村さん(1-1)

【専門委員会】(委員長・副委員長)

- 環境美化委員会 【正】大石さん(2-1) / 【副】本多さん(1-1)
- 教養委員会 【正】松森さん(2-2) / 【副】濱崎さん(1-1)
- 情報図書委員会 【正】村井さん(2-1) / 【副】中倉さん(1-2)
- 食と健康委員会 【正】川久保さん(2-2) / 【副】谷川(つ)さん(1-2)
- 生活福祉委員会 【正】阿比留さん(2-2) / 【副】福海さん(1-2)



重富会長から委員長・副委員長に任命状が手渡されました。



新・生徒会長による校旗継承の様子から。名実ともに新体制へ移行しました。